

『ネロの木靴——「フランダースの犬」ネロはなぜ自殺したのか』

を通して「いのちと希望」について考える

「ネロの死は自殺だった！

思わぬことからネロの死の真相を知ったアロアは、その原因へとさかのぼる苦悩の旅を開始する。」



ネロの木靴

「フランダースの犬」ネロはなぜ自殺したのか

『フランダースの犬』に涙した、
すべての人に贈る!

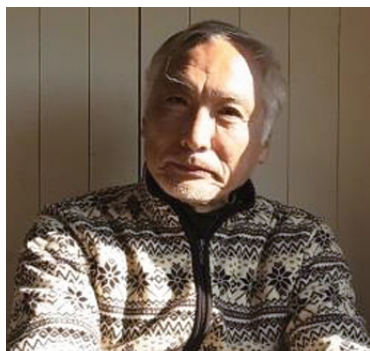
幼なじみのアロアは成人し、一児の母となって、森深く静かに暮らす。父コゼツの葬儀を機に、思わぬことからネロの死の真相を知ったアロアは、その原因へとさかのぼる苦悩の旅を開始する。人間の希望とはなにか、死をもってしても減り去ることのない希望とはなにか。現在に生きるわたしたちに、ネロの死が正面から問いかける。

白田夜半

10代後半から20代の若い世代では、死亡原因のトップが自殺であるという、この日本の現実の中で、小説『ネロの木靴——「フランダースの犬」ネロはなぜ自殺したのか』を糸口に、生と死の意味を、静かにいっしょに考えてみませんか。人の生を支える力とは、いったいなんだろう。そして、消え去ることのない希望とはなんだろう。同書の著者白田夜半さんの講演と交流の集いです。同書は、岩手日報社・日報岩手書店会主催の「第47回岩手読書感想文コンクール」高校生部門の課題図書に選定されています。

白田夜半（うすだ よはん）

1946年、福岡県北九州市門司区生まれ。本名白田逸茂。九州大学文学部中退。平成10年度、文部省（当時）学習用ソフトウェア『いのちの大切さ』を企画・制作、同作品のプロデューサー及びシナリオライター。著書に随筆『病という神秘』（教友社）、編訳『聖ヒルデガルトの病因と治療』（ポット出版）がある。千葉県鴨川市在住。ヒルデガルト研究会主宰。



平成26年 **9月14日** (日)

時間：13:30～16:00 (開場13:00)

会場：紫波町情報交流館 (オガールプラザ) 大スタジオ
紫波郡紫波町紫波中央駅前2-3-3 (紫波中央駅より徒歩2分)

参加費：一般500円 高校生以下無料 (定員100名)

お申し込み方法

FAXまたはメールでお名前・連絡先を記入してお申し込みください。残席の場合当日可。

お申し込み先

一般社団法人しあわせ計画舎

FAX：019-613-6420 E-mail：shiwase@keikakusha.name

■主催 一般社団法人しあわせ計画舎

■後援 紫波町図書館・さわや書店・一般社団法人もりおかなラティブ勉強会・地湧社
NPO紫波ing (紫波新聞)・(株)共同園芸